

# 川根本町エコツアーリズムネットワーク 「海島遊民くらぶ」研修



2012年10月1日～2日 @鳥羽

# 「海島遊民くらぶ」って？

「素晴らしい自分を発見する島の旅」をコンセプトに、様々なエコツアーを企画・実施する団体。女性スタッフ5名で約30〜40あるプログラムをすべてこなすというから、驚きです！

発起人にして代表取締役  
旅館の女将との二足のわらじをこなす

江崎貴久さん



弱冠25歳★ 若手のホープ！  
体を張ったガイド

貴恵ちゃん



笑顔がキュート！  
こう見えても三児の母だよ

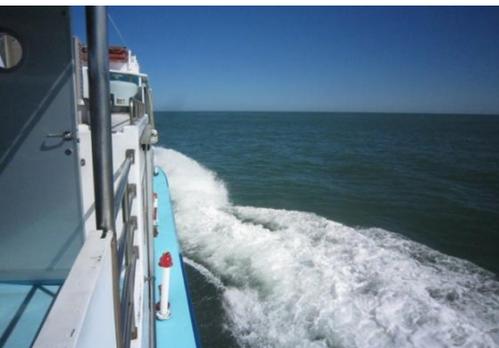
智穂ちゃん



～1日目～

# 「船で行く！ 漁師町の島うんち」

鳥羽マリンターミナルから定期船で50分、離島の答志島へ渡ります。人口2800人ほどの小さな島で出会った自然・トクはとても魅力的で、すっかり魅了されてしまいました！



ガイドは智穂ちゃん&貴恵ちゃんの名コンビ！ 二人の絶妙な立ち位置(ガイドっぷり)に注目です☆



※今回は研修プログラムの一部として参加しましたが、通常だと2時間半で5,700円(うんち付き、定期船代別)のメニューです。この料金設定も参考にしたいところ。安売りは禁物です！

# ロンク食堂で島ランチに舌鼓♡



←ロンクじゃなくて“ロンク”  
おじいさんの名前が「ロンク」  
で、「ロンクのおじいさん」と呼ば  
れてたからだとか…

→看板娘(?)はよく喋る！  
ガイドじゃなくこの人が喋るから  
こそ、よいリアルに地域の魅力  
が伝わるのかもしれない。



↑ やどかしの味噌汁！  
出汁がきいてて、おいしい～



↑ 海の幸のオンパレード。山にはな  
い海の魅力がたっぷり！ やっぱ  
い海はいい。



↑ 生活感まる出しの民家で食べるのも  
また粋です。キツイなホテルや旅館で食  
べるより、味があります！



↑ 島で唯一の豆腐屋さんで  
もらった揚げさん。

# お腹いっぱいになったら島めぐりへ～



↑ 八幡さんへ行く途中に出逢ったじいじとばあば。「何見てるんですか?」「愛知県みとるんや～ この島の向こうは愛知県やでなあ」仕込み(サクラ)かと思うほど、絶妙な返しに一同爆笑!



ありがとう、ロンク食堂♡



↑ 家と家の間が狭いのも、島ならではのですね。



← タコつぼがいっぱい! イテテッ...かまれちゃった?

→ てっちゃんの発見。答志島の軽トラは98%がホンダ製。島の人に聞くと「乗りやすいからちゃうかな～?」とのこと。それにしても、多すぎる! 答志島の不思議じゃ!



# 答志島の風景あれこれ

川根本町のように、一面に広がる茶畑があるわけでもない、SLが走っているわけでもない、いい温泉があるわけでもない…言ってみれば**“ただの島”** でもなんだか魅力的!? 島の人たちと挨拶や言葉を交わし、生活の様子を垣間見ることが出来る。もし、私たちが個人でこの島を訪れていたとしたら、こういう風景を目にして魅力を感じることができたでしょうか? 付かず離れずのガイドの存在、島の人たちとの信頼関係があってこそだと感じました。川根本町は資源に恵まれすぎて、工夫や努力することを忘れてしまっているのかもしれないなあ…



さすが漁師町。いろんなサイズの長靴が玄関先に並んでいます。



どの家にも必ずある「蘇民将来之子孫」と書かれた注連縄。



↑大量の貝殻。拾って帰りたい…



←路地裏だらけで迷路みたい!

→ 干してある洗濯物ですら、写真に撮りたくなっちゃう! 離島マジックだあ☆



↑ハ幡さんのお祭りのときに家ごとに墨で「ハ」って書くんだったか

# ～1日目～ 「座学」

「海島遊民くらぶ」代表の江崎貴久さんによるお話。離島から帰って疲れていたはずでしたが、ちい～っとも眠くなんかなかったです。みんな貴久さんの話に引き込まれていました。



## 地域を幸せにする観光 ～地域を育てる連携・循環～

一軒や一人がどれだけ頑張っても、お客様に選ばれる地域にはなれない！  
「この地域に行きたい」と思ってもらえるように、地域の総合力でピーターを増やす。

一人の力ばかりがやっていると必ず疲れくる。みんなが疲れないようにやるのが大事。  
がんばっても結果のない地域だと人が離れていってしまう。

## 「らしさ」を活かして「ならでは」の商品づくり

鳥羽を選んだ理由を満たす☞**地域性**  
地域の中でそのポイントを選んだ理由を満たす☞**個性**  
地域性と個性に期待以上の付加価値を満たす☞**創造性**

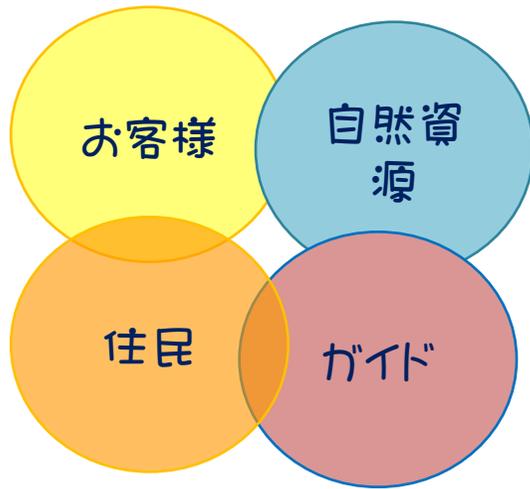
**お客様が「今だけ、ここだけ、私だけ！」の  
お得感を感じられる商品**



# 「海島遊民くらぶ」のコンセプト

## 素晴らしい自分を発見する島の旅

大人を休む日、大人になる日。自然も人も知らない何らかの発見を通して、自分自身の素晴らしさを発見する。参加者がやさしい気持ちになれ、「よしっ、明日からもがんばろう！」と元気になってもらうことを目指している。



## 4者にやさしく

※特に自然資源と住民には配慮が必要

### ＜地域貢献における商品づくり＞

#### ①マイナスをつくらないためのルールづくり

島でのルール(島の自然を守る、漁民・島民の生活を守る、挨拶をするetc)

#### ②地域の産品や魅力を魅力的に伝える

ガイドの多様性で地域の魅力をいくつでも見せられる。

島の魅力はひとつでもガイドの数だけその魅力が増えるってこと。

≠

ガイドのこだわりや専門性を押しつけているとお客様の心は開かない。

＋ホスピタリティ、思いやり、地域への思い

➡満足度UP

# ～1日目～ 「夕食&親睦会」

宿泊先は江崎さんが女将を務める旅館「海月」。私たちのために用意された豪華な食事をといながら、囲炉裏を囲んで、お酒も入って… 普段じっくり話すことのなかった会員同士がざっくばらんに語りあいました。



← 一次会、二次会と続き、議論は白熱したのです。



↑ 女将としての顔をのぞかせた貴久さん。



出た！ 伊勢海老でかつ☆



↑ 松茸の土瓶蒸しも出ました

# ～2日目～ 「座学」

あなたの地域に価値を感じる  
マーケティングのステップ



昨日に引き続き、  
貴久さんによるお話です。

## ステップ① 企画書

- 目的=何のため? → 協力が必要な主体も賛成・納得できる全体メリット
- メッセージ=何を? → 地元の人々にとっての地域の魅力・価値から、伝えたいメッセージを明確化
- テーマ・コンセプト=どんなふうに? → メッセージや自分たちの地域の魅力をお客様の価値に変える
- ターゲット=誰に? → 誰に伝えたいか。自分たちの地域の価値は、どんな人たちに価値があるのか。

## ステップ② シナリオ・プロダクト

→ 商品への落とし込み 「らしさ」と「ならでは」

## ステップ③ 販売に向けて

→ 受付体制・宣伝・広告・販促

地域のイメージ=地域の価値

どんないい広告を打っても、地元の人知らないとその魅力を伝えられない。地元ほったらかしはNG!

# 観光まちづくりの循環

～何がどこで回っているのか～

宿泊代、食材代、雇用・賃金など



地域・町内で人・モノ・お金を回す

それ以外に回っているものは…



大きすぎて見えない資源



形のない人の心・感情

すべての行き先をコントロールするのは、みんなの心・感情です。心や感情が町の景気を左右する力があるのだ！ 日本の景気は変えられなくても、自分の小さな町の景気は変えられる!!

エコツーリズムを理解し実践する人間が増えると、町の景気がよくなるはず！ そして幸せな町になるはず。だから私たちはエコツーリズムを推進するのです。

観光ではなく、「感幸」。エコツーリズムがうまく回りだすと自発的に地域の取り組みが発生してきます。それは経済が動くから！ それまで地道にしっかり続けることが大切です。

# ～2日目～

## 「鳥羽の台所 つまみ食いうォーキング」

鳥羽は魚介の宝庫♪ 地元で愛される様々な食材とまちを巡るツアーに参加しました。回ったお店は3軒。おすすめメニューをほんの少しつまみ食いで、お話をして… 物見遊山の観光では決して味わうことのできない鳥羽の魅力がたっぷり！ 「海島遊民くらぶ」のガイドさんと地元の方々との信頼があってこそ成り立っているツアーだと痛感しました。



↑ 出発はなぜかこのポーズ(笑) 研修も二日目になると、こういうハルにも抵抗がなくなってきました。



↑ “じゃあ、みなさん「せーの」でいきますよ～” と思いきりが二股の貴恵ちゃん



↑ 本日のガイドは貴恵ちゃん。古地図を使って市街地を案内してくれました。

# 一軒目 「七越茶屋」



FSC認証の北海道産割り箸を片手につまみ食いツアーのスタートです！ まず向かった先は、伊勢うどんの専門店「七越茶屋」さん。あくまでも“つまみ食い”なので伊勢うどんではなく、小皿に何やら出てきました。

↓「あらめを体で表現してみて」というしチャブイにも全力でこたえてくれる貴恵ちゃん。



←海藻っぽいけど、何だろう？  
ひじき？ 実は「あらめ」なんだとか！

↓少量だけってのがポイント。食べたかったらお昼ご飯で戻ってきてねん♪



# 二軒目 「すし梅」

続いてはお寿司屋さんへ。さんまの握りを出してくれました。葉蘭(バラン)っていうんですか？ 握りに付いてきたバランが見事だったので大将に聞くと、なんと実演してくれました！



大将が何やら作り始めましたヨ…



何が出来るか興味津々〜♪



見事な鶴の出来上がりです。

# 三軒目 「丸傳商店」

アワビやナマコの専門店、地元アワビ姿煮の製造販売もしています。笑顔が素敵なかおりさんとお父さんが私たちを出迎えてくれました♪



あまりの大きさにテンション上がりまくりのメンバーたち！



↑サザエの試食。コリコリで弾力があったおいしい！



←かおりさんによるサザエの身出し実演



👉小中大・特大のアワビやサザエを見せてくれました！

# そして、お昼ごはん…

こうして「鳥羽の台所 つまみ食いウォーキング」終了後は、各自お昼ごはんへ。さっき訪れた店へ行ってもよし、「まち歩きマップ」を見てほかのお店に行ってもよし！ すごいのは、ツアー料金よりも、昼食やお土産代で地元飲食店・商店に落ちるお金が多いってことです。お昼ごはんをあえてツアーの中に入れないのは、そういう理由だったんですね。飲食店や商店が密着している市街地ならではのアイデアです。**やはりグルメは強し！**これをどう川根本町に置き換えて生かしていけるか… 頭の悩ませどころです。



←VIVA! 海の幸☆  
サザエの壺焼きを2個たいらげ  
ました。

→ 鳥羽といえば魚介!  
今だけ、ここだけ、私だけの  
グルメ体験でした。



海老ふりゃ～も、  
うみゃ～です!



# まとめ&質疑応答

いよいよ研修も終わりに近づいてきました。貴久さんに聞きたいことをあれこれと質問しました。

Q1. 通年プログラムがたくさんありますが、特に冬のプログラムについてはどうやって作り上げていますか？

A1. お客様へのヒアリングが大事。お客様がどんなことをしたがるのかをリサーチする。冬のプログラムは冬の時期だからこそできること、通年できることの2タイプある。

例) 年配の方たち向けには、朝早く開始して短時間で終わるプログラム。

冬は寒いので、外にいる時間が短く、ホテルのチェックイン～夕食まで時間潰しができる16時～17時のプログラムが人気。

Q2. 遊民クラブの立ち上げについて

A2. 立ち上げメンバーは江崎さんのみ。仲間5人で7～8万円ずつ出し合って会社を作った。「こういうのあったら楽しいよね～」という気持ちで始めた。今年で12年目だけど、軌道に乗り始めたのは10年目くらいから。

Q3. ツアー料金やガイド料の設定は？

A3. ガイド料については1時間¥1,000円で計算している。プログラム費は1時間¥2,000円計算。

※遊民クラブのスタッフは全員が月給制雇用の方です。

Q4. どんな広報が効果的か？

A4. ホテル・旅館の窓口で宣伝してもらう(マージン10%)。30人限定で旅館の人たちにプログラムのモニター体験してもらった。ホテル・旅館の従業員さんたちにも鳥羽の観光を担っているという意識を持ってほしいから。最近、ホテル・旅館から流れるお客様が増えた。

# ～個人の感想～

“てっちゃん”こと  
芦沢哲哉

## 印象に残ったこと

海島遊民クラブが発足して12年だが、地域に根差して活動をする事が認知されたのは、ここ数年だと聞きました。発足してからこれまでに、観光の仕組みを考え、マーケットであるお客様への商品づくりや観光業として成り立つために、地域の恵みがあり、地域の魅力をしっかりと見つけることに努力してきたことが、遊民クラブの旨があると感じました。

マーケティングのステップを明確にして、地元の人々にとっての地域の魅力・価値から、伝えたいメッセージを明確化し、最終的には、商品を販売することによって、お客様の満足と地域経済の活性化を両立させ、観光を両者の感幸とする取り組みは素晴らしいと感じました。スタッフも単なるガイドではなく、マーケティングやクラブの地域貢献をしっかりと理解、勉強していると感じました。

## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

私達のエコツアー活動の理念や、活動することによる地域への貢献など具体化し、メンバーが共有することが大切だと思います。今回の研修で勉強した、マーケティングのステップや観光の仕組みを私達の地域に置き換え、明確化することにより、メンバーの士気の高揚、地域の人々への理解が深まると思います。

海島遊民クラブと同様の活動をする団体がいくつかあり、行政を軸に協力して商品のブランド化ではなく地域のブランド化に向けて一体となった情報発信をしています。地域としての観光について行政や各種団体が一体となる仕組みづくりを参考にすべきだと思いました。

## その他の感想

海島遊民クラブは、現在5名のスタッフで数多くの商品を考え、活動しております。川根本町のエコツアーは会員も多くそれぞれの活躍によって活動がされておりますが、会員として登録されているものの実際に活動しているのは少数に感じます。会員がそれぞれの立場で活躍できるよう初期の目的を再確認し、これからのエコツアーの在り方も再確認することにより、新たな発展につながると考えます。



# ～個人の感想～

“まみい”こと奥野雅海

## 印象に残ったこと

- ☆自然環境が違うことで、できることがいろいろ変わるんだなと思った。
- ☆プログラムを作る際にちゃんと考えられている。(目的・対象など)
- ☆ガイドの役割が案内するだけでなく、その土地の人々との関係をつなぐ役割にもなっている。(島めぐりのお昼のときなど)
- ☆プログラムの数の多さ ☆他団体との連携ができている
- ☆船での移動 ☆ガイドらとで全プログラムを対応している
- ☆仕事にできていること



## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

- ☆船での移動＝SL、アプト列車→ほかにはないものをもって生かしたプログラムづくりが大事
- ☆町の人々がもう少し関わられるようにする →町めぐりプログラム、町の人々のためのツアーなど  
地元の人々の理解・協力は不可欠！

## その他の感想

- ☆自然環境や取り組み人は違っても、それをやる心構えや思いは似たような感じでした。
- ☆12年かけて創り上げてきたということで、いろんなことがあったと思うけど、努力や工夫次第で形になっていくんだなと感じました。
- ☆いろんな人の協力があるってできること。町のため、町民のため、来てくれる人のため、活動してる人のため



“ぐれあむ”こと  
グレアム・セイヤ

# ～個人の感想～

## 印象に残ったこと

- ☆元気な2人のガイドさんと町全体を盛り上げようとしている江崎さんの3人のポジティブなお手柄。
- ☆日本人が求めている(であろう)ツアーのスタイルがNZと随分違っていることが印象に残りました。
- ☆町に観光客が少ないこと。

## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

海辺の町とは違った川根本町の持っている素材の良さが再確認できた。料理の仕方と宣伝の仕方では観光の町として大きな可能性があると感じた。川根本町のエコツアーは海島遊民クラブ以上の組織になると思う。

川根本町は歩いて移動するのが難しいから、車以外で来る方々への工夫が必要かと思う。

## その他の感想

今回の研修ツアーを準備して下さったエコツアーの皆様、ありがとうございました。

良い体験ができとことを感謝いたします。川根本町の皆さんと一緒に時間をすごせて嬉しかったです。ビジネスとして成り立たせることができるか、ですね。

“ちかちゃん”こと  
セイヤ知香枝



# ～個人の感想～

“びーちゃん”こと  
竹内雅子

## 印象に残ったこと

- ①鳥羽の海と空(台風の後だったので格別に美しかった)
- ②答志島のロンク食堂(古い、さほど美しくない食堂でいただいた新鮮なお魚料理とおばさんの説明、やどかりのお味噌汁)
- ③街中巡りで八幡橋の上で、地元のおじいさん・おばあさんと話したこと
- ④ガイドの「貴恵さん」の明るさと元気。  
地元の小学生との会話 少年「女かと思った」→貴恵ちゃん「女や女」
- ⑤すし屋のおじさんの葉蘭細工 ⑥エコツアーメンバーのやる気、元気。
- ⑦特に神東さんのやる気、元気。川根本町の貴重な人材。

## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

- ①広報かわねほんちょうにエコツアー特集を組んでもらう。「エコツアー日記」をもっと目立つ所に大きく、スペースをもらう。(町民の理解を広げる。特に役場職員、町会議員、青年会、学校関係に理解されるように)
- ②運営会議に出てもらう。(敷居が高くない、特別の人々の集まりではない。出してみて楽しい所であることを知ってもらう。OBの竹野さんにアドバイザーとして出てもらう。町長、副町長の参加を求める)
- ③弱者(お年寄り、心身に障がいのある人など)にやさしい町。森・温泉・カーの利用で元気になってもらう。
- ④各団体の壁をとり払ってひとつになる。なろうとする、姐嬢作り。

## その他の感想

大変参考になりました。川根本町は鳥羽より資源は豊かにあり、小さいところなので、見えやすい(目につきやすい)、その外活動しやすいと思いました。つまみ食い体験、食堂などの利用(千頭周辺では…あしずわ、えびす、おさわ、ノキ堂、田舎家、寺田農園など。お茶工場、ヤマメ養殖、わさび田(坂京)、コロッケ(小長井のおせど商店))。中澤さんの山城巡り、バリアフリーのカーなど。

まず町民に知ってもらうこと、参加してもらうこと。民生委員が行っている老人対象のいきいきサロンに出かけて、かわいい神東さんに元気に宣伝してもらうこと(おばあちゃんたちは孫娘に弱い)。

何と言っても**人材育成が大切**。古いひっこみ思案の体質、ことなかれ主義からの脱却、失敗を認める幹部の大胆さが必要かも。



# ～個人の感想～

“たーぼー”こと松本匠

## 印象に残ったこと

- ☆ツアーフィールドの雄大さ(海、港、離島)
- ☆エコツアー＝地域づくり(つながり) 地域の発展をしっかり考え実践している。つまみ食いツアーなどのアイデア、お店の対応もgood!
- ☆スタッフが女性のみであるからか? 対応がソフトでガイドイングの客との位置関係、おしゃべり、説明の歩行時間とのバランスもよく、心地よかった

## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

私たちの町にもたくさん宝物がまだまだ眠っている(中心となるのは森、川、湖、温泉などの自然でしょう)。一つひとつ掘り起こして活かす工夫。(ガイド、事務局の役割が大切でしょう。ガイド養成も) さまざまな要望に対応できる体制を。地元の人々にも自らが観光を担っているという認識を持ってもらう。町民一人ひとりが接客対応者です。

その他の感想

女性群のパワー、すごいですね! 私たちも頑張るぞ!



# ～個人の感想～

## 印象に残ったこと

若い人たちが友達とお金を出し合って勢いで始めたこと。それが10年続いている、楽しそうにしている姿が印象的だった。

もともとこの町が好きでもなく、活気もなく、周りの人たちが町を愛していないと感じていた。それを変えようという使命感よりも、**楽しそう**という発想からスタートしたこと。

## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

## “ともちん”こと横洲智子

- ☆たくさんのツアーをいろいろな切り口で作ってやってみたらよいと思う。
- ☆周りの人を巻き込んで運営していくこと。
- ☆少人数でも複数の人間がツアーガイドをできるようにすること。
- ☆あまり考えすぎずに実行に移すこと!! ☆目的を共有すること。



## その他の感想

今の川根はエコツアーに対して、観光や町の活性化については行政も頼れず、古い人たちの考え、今までやってきたことに絶望的な見方をしている人が多く、誰かを悪者にしてしまっていて諦めている感じがする。

楽しそうで、関係するみんなに利益のある事業を考えたら、どんどん実行していきなさい。トライ&エラーを繰り返していきなさいにはアクションを起こさずにはいられない！ と思いました。

あと、こだわりすぎると広がらない！ ゆるいくくりで実行あるのみ。

# ～個人の感想～

“みきてい”こと神東美希

## 印象に残ったこと

2つのツアーに参加しましたが、両方ともガイドの立ち位置が絶妙でした。今まで、「ガイド＝すべてを熟知したスペシャリスト」だと思い込んでいたのですが、地域のトや食材にスポットを当てるために引くところは引く、分からないことは素直に「分かりません」って言うなど、それもすべて計算(?)なのかもしれませんね。若い女性だからいいのかも。(失礼な意味ではなく)「あっ、これなら私もできるかも」と思えました。

すべてのプログラムを5人の常駐スタッフがこなしている点も素晴らしいです。金銭面は補助金などに頼らずに独立しつつも、行政や各団体など地域まるごとつながっているというのも、非常にうらやましいです。



## 今後の活動に取り入れたいこと、参考にしたいこと

- ☆(地名、田野口、徳山などの)地元めぐりはやりたい。できるだけ地元の住民にガイドをしてもらい、飲食も地元で。大事なのはガイドの人柄やツアーに登場する人物・自然たちの魅力。この人になら任せたい！と思える人物を発掘したい。
- ☆通年プログラムを作りたい(特に冬場)。トッキング、カヌー体験は、随時受け付け可能にしたい。そのためには人材(ガイド)の育成が必須。若い人たちに声をかけて、エコツアーの楽しさを体感してもらいたい。そのためにも“川根本町民対象”の体験ツアーをしてもいいかも。すぐには無理でも、エコツアーを通して地域が潤い元気になるような仕組み作りを目指す！
- ☆ボランティア精神は大事だが、私たちの活動は無償ではないということをしっかり認識すべき。自信のなさで参加費を安価にしてはいけない。価格に見合う内容にできるように質をあげていくべきです。

## その他の感想

8月の山田桂一郎氏のセミナーで見た映像の中で、江崎さんがおっしゃっていた言葉がとても印象的でした。「鳥羽でしか通用しない自分になっていくのがとても嬉しい」その言葉の意味をこの1カ月ずっと考え、今回の研修で少し答えが見えた気がしました。「川根本町でしか通用しない自分」になることに不安ととまどいを感じていた私の背中を押してくれた言葉でした。そして何よりの収穫は「素敵な仲間たち」です。一トでアシコしやるのではなく、仲間たちと、今よりもちょっと先を見据えて、川根本町で楽しく活動していきたいと心から願います。これからも“川根のみきてい”として、頑張るぞお！

海島遊民クラブの皆さん、ありがとうございました★



**研修で学んだことを  
今後の活動に活かすことを誓います！**